

北都新聞

除排雪改善で意見交換

名寄市議会経済建設常任委

【名寄】除排雪事業で市への改善案をまとめている市議会経済建設常任委員会(奥村英俊委員長)は24日、提案の整理に向け意見を交わした。

提案は、同常任委員独自の調査活動で、来シーズンの市道除排雪に対し、実効性の高い改善策、新たな取り組みを市側に示し、対応をうながす。これまでに道内6市の視察、市町内会連合会との意見交換を実施し、2月の前回委員会で委員長がたたき台を示した。

この日、提案の整理に向けて委員が意見を出し合った。通学路交差点の排雪強化や、パトロール強化、商店街の効率的な排雪、市民ニーズが高い間口除雪の実施、生活道路の排

雪回数増、受託業者が保有する除雪重機への支援や人材確保などが課題に上がった。

市は間口除雪について「タイヤショベルですべて処理する場合、約3億5000万円程度の経費が新たにかかる」と説明した。

このほか常任委員は、当初予算にあった市食肉センターの天井改修工事の変更について、市が「結露の影響

maitresse メアトレス

名寄市西4南5いろはビル2階
☎01654-278555

が予想以上で、2017年度に全体的な調査が必要と判断した。7月ごろまでに調査委託し、工事は18年度に行う見込みと報告した。

(吉永雅人)